

大阪代協

第14回御堂筋クリーンイベント



会員、保険会社社員ら704名が参加

雨の中でスタート 傘を片手にごみ收拾

第14回御堂筋クリーンイベントが6月5日(日)に開催され、会員と保険会社社員、その家族ら704名が参加した。

参加者は、本町・北御堂と地下鉄なんば駅の2か所に分かれ、午前10時から一斉に清掃を開始した。スタート時には梅雨の走りとなる雨模様であったが、大阪のシンボルでもある御堂筋をきれいにしたという思いの参加者は、傘を片手に、歩道脇や植込みに落ちているペットボトルや空き缶、落ち葉などを拾って歩いた。

集合場所である中之島の大阪市役所前に参加者たちが帰ってきた午前11時過ぎには、雨もほとんど上がった。持ち込まれたゴミは大阪市役所の北東、道路を隔てた場所に集められ、スタッフたちによって分別された。

参加した会員は「これだけ多くの代理店、保険会社社員、そしてその家族が保険会社間の垣根を



清掃に向かう参加者たち(北御堂)

越えて協力し合い、御堂筋をきれいにできたことに本当に素晴らしいことと。来年もぜひ参加したい」と感想を語ってくれた。

市役所前に設置された清涼飲料水の配布コーナーは大盛況。参加した子どもたちはうれしそうに、また大人もひと仕事



雨の中、子どもも参加



集まったごみを分別

を終えた清々しい笑顔いっぱいにのどを潤した。記念撮影を前に、平成28年熊本地震をはじめ、自然災害で亡くなられた方のご冥福を祈って全員で黙とうを捧げたあと、黒石会長が「今日は足元の悪い中、704名もの参加をいただいたことに感謝申し上げます。犯罪は1つのゴミからといわれている。そういう意味で、今日の清掃活動は街を美しくするだけでなく、防犯にも役に立ったのではないかと挨拶した。最後に全員で集合写真を撮り、午前11時30分過ぎに解散となった。